

テーマ

育てよう地域の「輪」・「話」・「和」

目 標

学習支援・環境整備・行事支援・しゅ柿に学ぶ・連携した防災の取り組み

今年度の取組紹介

昨年の活動を継続し充実を図ることを目的にしました。

<学習支援事業>

中学校での学習支援は対象学年を全学年に広げ、教科も数学と英語と理科の3教科にし、寺子屋学習の充実を図りました。

<しゅ柿に学ぶ事業>

今年も保護者と児童、生徒たちと一緒に、7月柿渋染め、8月柿渋作り、10月つるし柿作り 11月柿しゅクッキー作りを開催しました。クッキー作りワークショップでは、新しい柿しゅクッキーレシピで手軽に作れるように工夫しました。8月の柿渋作りは中学生も一緒にしました。

<小中教員合同懇話会>

8月19日小中一貫合同研修後、地域との懇話会を開催しました。春の新着任先生方との懇話会の発展型です。全体会と3部会で構成し、テーマに沿って話し合いをしました。

先生方には教育協議会の活動をさらに知っていただき、コーディネーターも先生方の意見を直接聞く機会となりました。これを次年度の活動に活かしていきます。

<さわやかクリーンディ>



(防災食作り)

今年は二名中卒業生の原画を使ってポスターを作り地域に広報しました。中学生のボランティア参加もあり、校区の清掃と「かまどベンチ」を使って豚汁の炊き出しと防災食の体験を催しました。公民館の「ひと箱古本市」と共催で、柿しゅクッキーやポン菓子販売にも人が集まりました。



(寺子屋)



(柿渋づくり)

今年度のまとめ

学習支援（寺子屋、家庭科実習支援）・行事支援（お茶会支援、文化発表会支援）・環境整備（除草作業、スマイリー、かまどベンチ周辺整備）・しゅ柿に学ぶは柿プロジェクト（柿渋染め、柿渋作り、つるし柿作り、柿しゅクッキー作り）・安心安全（登下校見守り等）・連携した防災の取り組み（さわやかクリーンディ、防災食の体験）等、昨年度を見直す事で、参加者の増加や内容の充実と成果がみられました。

来年度に向けて 「地域にしっかりと根の張る活動を・・・」

今年の活動を引き続きさらに充実をはかっていきます。先生方の声を聴くことができ、細やかな支援が求められていますが、目的実現のためには、登録者の高齢化・ボランティアの補充確保があります。先生方も含め、地域住民に活動にご理解いただきボランティア協力が得られるような広報活動と他団体との協働に努め、子ども達の笑顔を見続けていきたいと考えております。

テーマ

たくましい心身と豊かな人間性の育成

目標

仲間と共に学び、発表できる力を持たせる。地域の方々と交流し、地域社会に貢献できる生徒を育てる。

今年度の取組紹介

〈学力向上支援事業〉「二名中寺子屋」

「二名中寺子屋」は、本中学校区独自の先進的な取り組みである。本年度は、生徒のニーズと合致させながら、内容を充実させることができました。

〈仕事の専門家から生き方を学ぶ〉

7月に、実際に現場で活躍されている8名の講師をむかえて、働くことのすばらしさ、厳しさを教えていただき、進路を考えるきっかけと社会人としての意識や態度を学ぶ機会になっています。

〈大舞台体験事業〉

今年は9月16日に県文化会館を貸し切り、クラス対抗の合唱コンクールと文化部の発表会を実施しました。多くの保護者や地域の方々の応援の下、達成感のある一日となりました。

〈世界遺産学習推進事業〉「英語で世界遺産を紹介」

世界遺産の良さを観光に訪れられる海外の方々に英語で紹介し、インタビューする取組を実施して5年目になる。地域の方々や奈良外国語ガイドクラブ、天理大学、二名公民館など様々な方々の支援によって実施している。事前学習で行っている英語インタビュー練習が、この行事を成功させる上で大切である。このインタビュー練習にも地域の方々12名に参加していただき、講師として指導にあたってもらいました。



(英語インタビュー練習の様子)

今年度のまとめ

- 「教育環境整備事業」では花いっぱい美しい環境の学校作りを行うために、地域ボランティアの方々の協力得て花苗の移植を行い、豊かな感性を育てる取り組みとなっています。
- 「大舞台体験事業」では日頃の学習の成果を地域の方々に公開できる機会と、それに取り組む中でクラス全員で一つの目標に向かうことでクラスの団結力と絆の大切さを学ぶことができました。
- 「仕事の専門家から生き方を学ぶ」の取り組みは、職場体験学習を行う前に進路について考え、社会人としてのマナーを学ぶきっかけとなり、キャリア教育を推進することができました。

来年度に向けて

- 世界遺産学習推進事業「英語で世界遺産を紹介」が本校の大切な取り組みのひとつとして定着しました。世界遺産の良さを発信し、地域ボランティアや様々な方々の協力で実施されています。その他多くの取り組みを実施し、校区全体で生徒を育て、地域社会に貢献できる人材の育成に努めます。

テーマ

やる気・元気・優しさあふれる青和っ子プラン

目標

学校・家庭・地域が協働して子どもをはぐくみ、地域との絆を深める。

今年度の取組紹介

本年度も、確かな学力を身に付けるため、豊かな体験を通して学ぶ授業を重視し、地域のボランティアやゲストティーチャーの方々の支援を受けながら、子ども達の生きる力を育む取組を進めてきました。

その中で今年度も、地域やPTAの方々の支援のもと、5年生による防災学習を実施しました。まず最初に、防災士でもある小谷会長から「防災と地域」というテーマで、地域の防災の取組や身近にできる防災対策、かまどベンチの役割などについてお話を聞きました。その後クラス毎に、セメントを練ってレンガを積む「かまど作り」や木材のペンキ塗り、さらに防災倉庫を見学し実際に体験するグループに分かれて活動しました。子ども達は、初めての体験で中々要領がつかめない中、地域の方の作業を見たり、手助けをしてもらったりしながら、意欲的に作業や体験に取り組んでくれました。

さらに今年度は、でき上がった2つ目の「かまどベンチ」の火入れをかねて、5年生が簡単な「防災食」作りに取り組みました。当日、地域教育協議会から3名のコーディネーターさんが来てくださり作り方を教えてもらいました。耐熱用のビニール袋に米と水を入れて空気が入らないようにして輪ゴムでとめ、沸騰したお湯に入れると、20分間程でご飯になります。



子ども達は、早速でき上がったごはんを試食して、「とてもおいしい!」「こんな方法でも、ごはんができるんだ」と感心していました。また、待っている時間を使って防災食の意義についての説明も聞きました。

このように地域の方々に支援いただいて実施した防災学習は、子ども達の防災に対する意識を高めるとても貴重な体験となりました。

今年度のまとめ

このように、学校・保護者・地域が協働して様々な取組を推進してきました。毎朝、交通安全ボランティアの方々による見守り活動を通して、子どもたちは、安心安全のもと、元気なあいさつを交わし、心のふれあいも広がりました。また、家庭科支援やゲストティーチャーを招いての体験学習、図書ボランティアの方の読書活動など、学校・保護者・地域が協働して育んだことで、子どもたちに学ぶ楽しさを体感させ、豊かな心と確かな学力を育む取組ができました。また、昨年度同様にホームページや学校だよりにより、学校と地域の連携の様子を詳しく知らせることで、地域との連携をより多くの方に理解してもらえたことも成果となりました。

来年度に向けて

地域連携による子どもの育成をテーマとし、事業を推進してきました。地域の様々な場面で活躍されている方々の支援を受けながら交流を行い、学校・家庭・地域が協働して子どもたちを育むことができました。そして、地域との絆も深めることができました。今後、学校と地域の連携をさらに強化するために、コーディネーターやボランティアの方々と教職員との交流を深め、地域との輪が一層広がっていくようにしていきたいと考えています。

テーマ

地域で育ち、地域に学び、地域とつながる二名っ子

目標

人との出会いを大切にし、児童相互が励まし合い、思いやりの心をもって豊かな人間関係を築き、自らも地域の一員であるという意識を醸成する。

今年度の取組紹介

〈環境整備活動支援〉

毎年、9月の運動会に向けて、学校の周辺及び運動場の環境整備を地域の方々、PTAにご協力いただいています。今年は、8月30日、厳しい残暑の中、本校の環境整備ボランティア「木こり隊」の皆さんが生い茂っている雑草や木を刈り取っていただきました。

9月3日には親子清掃を実施し、PTA、児童、教職員をはじめ、「二名小学校区スポーツ協会」、地域のボランティアの方々との力を合わせて刈り取られた草を収集しました。また、10月30日には花いっぱい運動として人権教育推進協議会やPTAの方々の支援を得て、園芸委員会の児童と一緒に（花いっぱい運動）パンジー、ビオラ、ナデシコ、チューリップなど「人権の花」を植えました。



〈体力向上事業 ふれあい事業〉

「二名小学校区スポーツ協会」と「にみょうきつずくらぶ」の連携により、歩こう会やドッジボール大会、ミニ運動会を実施しています。毎年参加者が増え、盛況になってきています。児童と地域の方々が、スポーツに親しみながら親睦を深めることのできる貴重な機会となっています。



（ドッジボール大会）

今年度のまとめ

- 「としよぼ」さんに読み聞かせや、おはなし会、図書室の環境整備をしていただくことで、児童は読書の楽しさや面白さをより一層味わい、豊かな心と言語力を育てることができた。
- 「にみょうきつずくらぶ」や「スポーツ協会」等各種団体との連携、協力により、自発的に運動をする児童が増え、体を動かすことの楽しさを感じながら体力向上を目指す取組ができた。
- 地域の方々とのふれあいの中で、見守られているという安心感、お世話になっていることへの感謝の気持ちを抱くようになり、児童自らがあいさつしたり話しかけたりするなど、本校児童の課題であるコミュニケーション能力の育成に効果をもたらしています。

来年度に向けて

- 学校の教育活動を支援していただいている各種団体や地域人材との連携を強化し、地域の力をより一層活用するため、コーディネーターやボランティアの方々と教職員との交流を深めるとともに、中学校区とも協力して児童の参加・参画も考えていく。校務分掌に地域連携担当教員を複数配置して、その取組を活性化させることが必要です。

テーマ

『にこにこ もりもり きらきら 輝け二名っ子』

目標

人と関わる中でこそ味わえる豊かな感動体験を通して、幼児が思いを伝え合い、協力して進める楽しさを学ぶ。

今年度の取組紹介

＜お花を楽しもう＞

講師先生の指導の元、ハサミで花を切り生けました。「〇〇ちゃんのすごいな」「この花きれいだな」思ったことを話しながら工夫しながら楽しんで生けました。それぞれ個性豊かな作品ができました。できあがった作品には生けた子どもの顔写真を貼り、園内作品展に展示しました。地域の方やお家の方に見てもらい、生けた時の様子などを嬉しそうに話していました。また、生けている時の様子を撮影した写真をモニターで映し出したことで、見に来てくださった地域の方にも、子どもの活動の様子をじっくり知っていただくきっかけとなりました。



＜お茶会＞

講師先生の話を真剣に聞き、5歳児はお家の方に飲んでもらおうと一生懸命お茶を点て、「おいしかったよ。」と言われると、ホッとしたように笑顔になりました。4歳児では抹茶を初めて飲む幼児もいましたが、緊張しながらも「苦かったけど美味しい。」という感想も出しました。お茶会では、教えてもらったことを思い出しながらお茶を点てる姿に保護者からは思わず笑みがもれ、和やかなひと時になりました。静かな雰囲気の中で毛氈の上でじっと正座するという日常では数少ない経験も家族で共有し好評でした。親子で向かい合って座り、きれいな箏の生演奏を聴きながらお茶会の雰囲気を味わい、日本の伝統文化に触れる貴重な体験になりました。



今年度のまとめ

家庭では余り経験できない日本の伝統文化であるお茶会・お花を楽しもう・絵手紙をつくろう・空手などの事業をはじめ、保護者からの要望の多い英語・ピアノコンサート・ニコニコタイム(預かり保育)などで地域のいろいろな方と様々な場で関わることができました。子どもたちは、地域ボランティアの方々に見守られ、心の温かさなどに触れながら安定し、人との関わりを広げていくことができました。その感謝の気持ちを子どもたちが絵カードにしてプレゼントしました。地域の方にはとても喜んでいただき、子どもたちも思いが届き嬉しかったようです。園内作品展にもたくさんの方に見ていただき、賞賛されたことが子どもたちの自信や意欲につながりました。豊かな感動体験を積むことで自尊感情が高まり、コミュニケーションの力や豊かな心を育むことに繋がりました。

来年度に向けて

今年度の成果を踏まえ、地域の方や家庭との信頼関係がより一層深まるよう継続して事業を進めていきたいと思います。さらに、各取組で学んだことや感動が日々の子どもの遊びにつながっていくよう工夫しながら充実させていきたいと考えます。これからも地域の皆様と連携を密にしてご協力やご理解を得ながら、地域に開かれた幼稚園になるよう努めて参ります。

テーマ

心豊かに たくましく 笑顔あふれるこども園

目標

- ・身近な環境を生かし、豊かな心やたくましい体を育む。
- ・地域の方と触れ合い、人とかかわる楽しさや感謝の気持ちを育てる。

今年度の取組紹介

◆ サッカーで遊ぼう

奈良市西部地域で活躍されているサッカークラブのコーチを招き、4・5歳児対象にサッカーを始めた。コーチに優しく声をかけられたりボールを使った簡単なゲームを楽しんだりするうちに徐々に緊張もほぐれ存分に体を動かして遊ぶことができました。

最後にはチーム対抗の試合をし、ゴールを目指して必死にボールを追いかけたり、転んでもすぐに立ち上がり走りだしたりするなど最後まであきらめずにがんばる姿が見られました。また、試合の前後にはきちんとあいさつをするなど規範意識も学ぶことができました。



◆ やきいもパーティー

5月に地域の方に植え方を教えていただきながら畑に植えたサツマイモが、秋には300本近く収穫できました。そこで青和小学校2年生と一緒にカマドベンチを使ってやきいもパーティーをしました。前日より一緒にサツマイモを洗ったり、当日は2年生に手伝ってもらいながらサツマイモをアルミホイルで包んだりして準備をしました。焼けるまでの間、体育館でゲーム遊びや体操をして、共に楽しみました。やきいもを初めて食べる子どもも多く「おいしい」と歓声が上がリ、2年生の優しさにも触れて身も心も満たされる体験となりました。当日には植え方や育て方を教えていただいた地域の方も招待し、パーティーに参加していただきました。



今年度のまとめ

- ・様々な事業を通して子どもたちは多様な体験をし、思いやりの心や最後まであきらめずに挑戦する気持ちが育ち、自分たちの遊びや生活を意欲的に進めていこうとする姿につながりました。
- ・身近な環境や様々な人とかかわりを通して、優しさや温もりを感じ幼児自身の心も豊かに育まれてきました。子どもたちからも、「〇〇さんのお話遊び楽しみ」「サッカーのコーチすごいな」と心待ちにしたりあこがれの気持ちを持ったりする声が聞かれました。
- ・サッカーで遊ぼうでは、試合前、終わりにはきちんと挨拶をするなど、遊びを通して規範意識の向上にもつながっています。

来年度に向けて

- ・地域の教育力を生かした活動内容を保育に取り入れ、子ども自らが意欲的に取り組んだり、それを遊びに活かしたりできるような内容を精選し、取り組んでいきたいです。
- ・地域の中にあるこども園とし、子育て支援の拠点となり幼児教育を地域に発信できるようにしていきます。
- ・取り組みの様子や内容を地域・保護者の方にタイムリーに伝え、事業内容について理解を深めたいです。